



煤ヶ谷駐在所だより

令和7年8月
厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
平山
046-223-0110

夏季におけるレジャー事故防止

夏は、登山やハイキング、海水浴など山や海、河川で様々なレジャーを楽しむ機会が増える季節です。

自然に触れるレジャーは、楽しみが多い反面、自然ならではの危険もありますので、事故を防ぐため、自然の危険性を認識し、しっかりと計画を立てて行動しましょう。



◎ 水難事故を防ぐための注意点

- ライフジャケットを着用しましょう。
- 子供だけで遊ばせないようにしましょう。
子供が水遊びをする際は、必ず大人が付き添い、目を離さないようにしましょう。
- 天気予報を確認しましょう。
- 危険な場所に近づかないようにしましょう。

体調が優れないときや睡眠不足などで疲れているときは、水泳や釣りなどは控えましょう。体に負担がかかり、事故に繋がる危険が高くなります。

◎ 山岳事故を防ぐための注意点

- 無理のない登山計画を立て、登山計画書を提出しましょう。
- 事前に情報収集し、天候や登山ルート、危険箇所などを把握しましょう。
- 登山計画は、家族や同僚等と共有しましょう。
- 出発前に健康状態をよく確認し、万全の状態に登り、こまめに水分と休憩をとり、体調が優れないと感じたら登山を中止する勇気を持ちましょう。
- 雨具や防寒具、非常食、ライト等の装備品を必ず携行しましょう。
- 紙地図や登山アプリを使って、適宜自分の現在地を確認しましょう。



遭難の多くは、下山時に発生しています。時間に余裕をもって早めに出発し、日暮れ前に下山を完了するようにしましょう。

不審な業者「水道の点検に来ました。」

水道管からの水漏れやサビの点検をさせてほしいと言う業者が訪問してきて、家の中に入れてしまったと言う届出がありました。

家の中を見られるということは、何人で暮らしている、お金がある等が把握されることとなります。後日犯罪の被害に遭う可能性がありますので、自ら頼んだ業者以外は家の中に入れてはいけませんよう注意してください。

清川村の事件・事故

(6/21 ~ 7/20)

- 人身事故 3件
土山峠、新屋敷、唐沢キャンプ場付近道路
- 物件事故 12件
土山峠2件、谷太郎、片原、御門、柳梅、下舟沢、宮ヶ瀬トンネル
唐沢キャンプ場付近道路4件、
- 訪問業者 2件
水道業者、不用品買取業者



防災意識の高揚・日ごろからの準備について



8月30日から9月5日は「防災週間」、9月1日は「防災の日」です。

自然災害から家族や自分の身を守るためには、日頃の備えが大切です。いざという時のために、家族で防災対策について話し合ったり、防災用品や食料品の準備をしたりして災害に備えましょう。

★日頃の備え～家族で防災会議を開きましょう～

- ◎ 身の安全を確保できる場所や危険箇所を確認し把握しておきましょう。
テーブルの下など一時的に避難できる安全な場所はどこか、庭のブロック塀など倒壊の可能性がある危険な場所はどこかなど、家族で確認しておきましょう。
- ◎ 家具の転倒防止などの措置をしておきましょう。
家具の転倒防止のため、転倒防止器具で固定しましょう。また、万が一家具が倒れた場合に備え、安全な家具の配置をしましょう。
- ◎ 地域の避難場所や避難経路の確認をしましょう。
地域で定められている避難場所までの経路を歩き確認しておきましょう。
- ◎ 家族との連絡方法を確認しましょう。
災害が発生すると、被災地などへの通信が増加し、電話がつながりにくくなりますので、災害時には災害用伝言ダイヤル「171」や「災害用伝言板（web171）」などの「災害用伝言サービス」を事前に使用方法を確認していざと言うときに活用しましょう。

★地震が起きたら

神奈川県は、都心南部直下地震や南海トラフ地震などの切迫性や、地震の発生に伴う津波による浸水被害が指摘されています。

- ◎ 地震発生直後（グラッときたら）
緊急地震速報を受けたり、地震の揺れを感じたら、まず身の安全を最優先に行動しましょう。
 - ・ 頭を保護し、丈夫なテーブルの下など安全な場所に避難しましょう。
 - ・ あわてて外へ飛び出さないようにしましょう。
 - ・ ガスコンロの火などは、地震の揺れが収まってから消しましょう。
- 屋外（街）では
 - ・ ブロック塀の倒壊、看板や割れたガラスの落下に注意しましょう。
 - ・ 山崩れ、崖崩れに気をつけましょう。
- 火災や津波に備えて避難
 - ・ 大規模な火災による危険を感じたら、地域で指定された避難場所などに避難しましょう。
- 帰宅困難者にならないために
 - ・ 「むやみに移動を開始しない」という基本原則を守りましょう。